

自然素材で健康に！

家づくりをするとき、 接着剤のことを考えてみませんか

1 健康な住まいづくりの 接着剤を考える

住宅を建てる際に使われる化学物質の代表でもある接着剤は、現場施工に使用される以外に、建材の製造時にすでに使用されている分も含めると、大量の接着剤を、知らないうちに使用されていることになりま。その量は、一般的な木造住宅35坪で200kg、25坪のマンションで100kgにもなるのです。

ローリングの製造時に使用される接着剤には、ホルムアルデヒドを含むウリア樹脂系・メラミン樹脂系・フェノール樹脂系・レゾシノール樹脂の他、ノンホルマリンの水性ビニールウレタン系があります。また、接着剤はグラスウールやセルロースファイバーなど、繊維系断熱材にも使用されています。

接着剤のコーナーを見てください。溶剤型と無溶剤（水性）型、木工用ボンドも従来品と無溶剤型が、平然と並んでいます。溶剤型はVOCを含むので、使わないほうが良いでしょう。水性タイプの無溶剤や無溶剤型接着剤は「環境対応型」といわれ、VOC対策として最近開発されたものです。こちらを選ぶこと。

現場施工時に使われる
主な接着剤

市場では溶剤型の有害物質を含む接着剤が売られ、使用されているので、まだまだ注意が必要なのです。

4 天然素材の 接着剤もある

環境対応型の接着剤とはいえ、化学物質はイヤという自然派志向の人にもいるでしょう。素材自店で何度か紹介してきましたが、壁紙用の防腐剤も含まない無添加のり、コルクやリノリウム用の天然ゴムラテックスのりなど、主にドイツの天然塗料メーカーの輸入品が手に入ります。天然モノにこだわる人にはおすすめです。



写真右：
天然ラテックスゴムの接着剤
コルク、リノリウム、
天然カーペットに使用
●1㎡当たり約¥1200

写真左：
天然セルロースの無添加のり。
紙クロスに最適
●1㎡当たり約¥30

天然貝灰
噴火湾産ほたて漆喰壁誕生

温故知新。今、様々な自然素材が見直され、住宅にもたくさん取り入れられるようになりまし。五感に優しい自然素材ですが資源を無駄に消費していくのではなく、廃棄物を賢く再利用し、できる限り環境にも負担をかけず、同時に地元で出た廃棄物を生かすことで地産産業にも活力が出てきます。

ほたて貝の養殖により産出される大量の貝殻を見直し、環境と共生し地域産業を生かしていく、そんな考えでほたて漆喰壁は誕生しました。合成樹脂などの化学物質を含まず、消臭、調湿性に優れた呼吸する素材ですから、誰もが安心して使用できます。漆喰風の繊細な質感が特徴で、素地の白色以外にも5色のカラーが用意されています。色土や珪藻土を混ぜたり、麻やワラスを混ぜたりすることで自分だけのオリジナル壁も出来るので、セルフビルドにも最適なおすすめの一品です。

材料価格も、1㎡当たり¥1200とリーズナブル！

2 住宅を建てる時、 どんな接着剤が使用される？

建材の製造時に使われる
接着剤

ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・可塑性といった健康障害の原因になる化学物質を多く含むため、シックハウスや過敏症対策としても、接着剤の使用を見直す必要があると思います。接着剤の使用を減らすことが健康な住まいづくりの近道でもあります。

3 安全な接着剤を 選ぶポイント

ホームセンターへ行ったら

壁紙のクロスには、デンブロン系や酢酸ビニールエマルジョン系が使われます。壁や床の仕上材には、材質ごとに多種の接着剤を使用。トルエンやキシレンなどの有機溶剤を含むウレタン系、合成ゴム系、可塑性を含む水性のアクリル樹脂や、木工用ボンドで有名な酢酸ビニール樹脂系、環境ホルモン物質を含むエポキシ樹脂系などがあります。

5 接着剤なしで、 住まいはできないか

今の家づくりには欠かせないといわれる、接着剤。低公害で環境対応型も開発されていますが、化学物質のかたまりには変わりありません。本来、日本の木造建築では土壁や漆喰に混ぜた、つものまた海草のりや、木の接着に二カワを使っていたくらいで、接着剤といわれるようなものは存在しませんでした。

自然素材を使った住宅でも、見えない部分や施工時には接着剤に頼っているのが、現状です。

接着剤なしで住まいはできないのか？ まじめに考えてみると結構いけます。

接着剤を使った断熱材・下地用合板・化粧合板・フローリング・構造用集成材は使わない工夫をする。無垢材と小巾板で対応する。建具や造り付けの家具も合板類を使わず、

6 接着剤を使わなければ、 再利用もできる

無垢材をホゾ組みにしたり、最小限の中八ギ集成板と羽目板で造る。壁紙や塗り壁用は天然のりを使用するようにして、フローリングも無垢材をクギ打ちだけで施工すれば、かなりの量の接着剤を減らすことができます。

友人の建築家から「40年前の住宅を建て替えるため解体するけど、床に使っているフローリング、要らないかい」と電話がありました。早々に仲間4人で八ガシに行きましたが、立派な無垢のサクラのフローリングでした。しかものりは使っておらず、クギ打ちだけ。

一枚ずつハガシながら、クギを抜いていき、表面をカンナ掛けしてオイルを塗れば、ピカピカになるでしょう。一日で、トラックいっぱいこのフローリングをゲット！です。

最近、床鳴りや狂いを防ぐために強力なボンドが使われていて、簡単にはハガシできなくなっていました。そして、このとき思ったの「やっぱり接着剤を使っちゃダメだ！」。

近々、生まれ変わったサクラのフローリングは、また接着剤なしで新しい家に使われるでしょう。少なくとも30年、いや50年は使ってもらえるかな……。

PROFILE

西條正幸 Masayuki Saijo

エコロジーデザイナー。
1960年伊達市生まれ。
札幌を中心に商業施設のインテリアデザイナーとして活動。現在は人と環境にやさしい商住空間をテーマに、エコロジー建築による店舗・住宅の新築、リフォームの設計・施工、エコロジー建材のコーディネートなどに従事している。
一級建築士事務所(有)西條インテリアデザイン設立。代表取締役。



エコロジー建築工房

一級建築士事務所

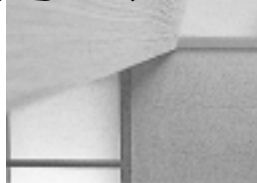
有限会社 西條インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8の1(百合が原公園向かい) TEL 011-774-8599
伊達支店／伊達市舟岡町50-28 TEL 0142-22-0138 <http://www.saijo-d.com>

ほたて

北海道噴火湾産 天然貝灰

漆喰壁



化学物質を含まない
消臭・調湿性能に優れた
呼吸する100%自然素材



お問い合わせは下記まで

エコショップ素材自店
(有)西條インテリアデザイン

札幌市北区百合が原4丁目8-1
TEL 011-774-8599
FAX 011-774-8581
E-mail:eco@saijo-d.com
<http://www.saijo-d.com>

(株)藍土工房

伊達市梅本町4-2 JCG ビル2階
TEL 0142-23-8811
FAX 0142-23-8833
E-mail:info@aimori.net
<http://www.aimori.net>

made in hokkaido
hokkaido